

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|------------------|
| 理念に基づく運営 | <u>11</u> |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | <u>2</u> |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | <u>6</u> |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | <u>11</u> |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | <u>30</u> |

| | |
|-------|---------------------|
| 事業所番号 | 2372501169 |
| 法人名 | 社会福祉法人 サン・ビジョン |
| 事業所名 | グループホーム 第2グレイスフル春日井 |
| 訪問調査日 | 平成20年3月4日 |
| 評価確定日 | 平成20年4月7日 |
| 評価機関名 | 福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ |

項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法
[取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。
[取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年4月7日

【評価実施概要】

| | |
|-------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 2372501169 |
| 法人名 | 社会福祉法人 サン・ビジョン |
| 事業所名 | グループホーム 第2グレイスフル春日井 |
| 所在地 | 春日井市牛山町3195-1 (電話) 0568-32-6757 |

| | | | |
|-------|----------------------------|-------|-----------|
| 評価機関名 | 福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ | | |
| 所在地 | 名古屋市中区金山一丁目8番20号 シャローナビル7A | | |
| 訪問調査日 | 平成20年3月4日 | 評価確定日 | 平成20年4月7日 |

【情報提供票より】(平成20年2月6日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|----------------------------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 14年9月2日 |
| ユニット数 | 1 ユニット 利用定員数計 9 人 |
| 職員数 | 7 人 常勤 6人, 非常勤 1人, 常勤換算 7人 |

(2) 建物概要

| | |
|------|--------------|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート 造り |
| | 5 階建ての 2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|-----------------|------------|------------|----------|-------|
| 家賃(平均月額) | 27,000 円 | その他の経費(月額) | 15,540 円 | |
| 敷金 | 有(円) | (無) | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 350 円 |
| | 夕食 | 350 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(平成20年2月6日現在)

| | | | | | |
|---------|-------------------------|---------|---------|----|-----|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 0 名 | 女性 | 9 名 |
| 要介護1 | 6名 | 要介護2 | 1名 | | |
| 要介護3 | 1名 | 要介護4 | 1名 | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 84.1 歳 | 最低 75 歳 | 最高 93 歳 | | |
| 協力医療機関名 | 井上医院・あさひが丘ホスピタル・春日井市民病院 | | | | |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは法人併設施設建物の2階にあり、建物内には介護老人福祉施設(特養)やデイサービスセンター、地域包括支援センターなどがある。周囲に住宅が少ない環境だが、法人の運動会や納涼祭などの行事には多くの地域住民が訪れたり、定期的なボランティアの受け入れ、建物内にある地域交流センターを利用する人々とのふれあいなど地域との交流を進めている。職員は明るくゆったりとした態度でケアに当たっており、入居者の表情も穏やかであった。電車に乗りたいたいという言葉から個別ケアとして電車に乗って初詣に出かけたり、ボランティアによる音楽療法は1対1で行われるなど一人ひとりの要望に応えられるよう努めている。今後は外に出る機会を増やしていきたいとしている。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>入居者が利用する市内大型商店に働きかけ運営推進会議に参加をしてもらい、認知症、グループホームへの理解を深めていただいた。地域の馴染みの大型店であり、そこでの買い物が楽しみとなっている入居者も多く、今までもレジでの協力などもあるが、さらに今後の対応を検討していきたいとの言葉をお店の方からいただいた。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は評価の意義や目的を全職員が理解するよう努めた。自己評価は初めての取組みだが全員が真摯に取り組んだ。職員からは、「難しかったが職員間で話し合い、自己評価で出てきた課題に取り組んでいきたい」などの声があった。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>メンバーは家族、地元区長、市内大型商店、地域包括支援センター、市役所担当者である。会議では行事や入居者の様子などを報告したり、認知症やグループホームについて資料を用意して話をし理解を深めてもらっている。様々な視点から意見交換が行われ、そこでの意見がサービスの向上に繋がっている。外部評価の結果や改善の取組みについても報告されている。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>年に1度ホーム独自の満足度アンケート調査をして意見要望を聞いている。運営推進会議では毎回家族の参加を呼びかけており、いくつかの意見要望が出ている。誕生会やクリスマス会などの行事への参加を呼びかけ、その際に話を聞いている。家族からの意見で面会時に記入する名簿を個別にした。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入している。地域のカラオケ大会に参加したり小学校の運動会に出かけられている。近くの公園への散歩の際には子どもや母親とのふれあいがある。また、小、中学生の体験学習や各種のボランティアを受け入れている。地域交流センターで毎月開かれる地元区の「ぬくもりの集い」に参加し、地域の高齢者や婦人会の皆さんと交流している。介護予防教室にも参加している。</p> |

2. 評価結果（詳細）

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|----------|--|--|-------------------------|---|
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 法人理念をホームの理念としている。「施設は孤立せず家族、地域との連携を考えましょう」とあり、地域とのつながりを大切にしていく姿勢を示しており、地域との交流に積極的に取り組んでいる。 | | 地域密着型として何が大切かを考え、ホームの状況に沿ったホーム独自の理念をつくりあげていくことを期待したい。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念をホーム内の見やすい場所に掲げると共に、胸に付ける名札の裏に入れており、常に理念を意識できるようにしている。また、申し送りの際にも唱和しており、職員全員が毎日の行動の基本としている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会に加入している。地域のカラオケ大会に参加したり小学校の運動会に出かけている。近くの公園への散歩の際には子どもや母親とのふれあいがある。また、小、中学生の体験学習や各種のボランティアを受け入れている。地域交流センターで毎月開かれる地元区の「ぬくもりの集い」に参加し、地域の高齢者や婦人会の皆さんと交流している。介護予防教室にも参加している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者は評価の意義や目的を全職員が理解できるよう努めた。自己評価は今回が初めてだったが全員が真摯に取り組んだ。前回の評価で改善課題となった周辺施設などへの理解、協力への働きかけでは、入居者が利用する市内大型商店に働きかけ運営推進会議に参加してもらっている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>メンバーは家族、地元区長、市内大型商店、地域包括支援センター、市役所担当者である。会議では行事や入居者の様子などを報告したり、認知症やグループホームについて資料を用意して話をし理解を深めてもらっている。様々な視点から意見交換が行われ、そこでの意見がサービスの向上に繋がっている。外部評価の結果や改善の取り組みについても報告されている。</p> | | |
| 6 | 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>機会あるごとに市の担当窓口を訪ねたり、電話で報告や相談、情報交換をしている。担当者と良好な関係を築いており、連携してサービスの向上に取り組んでいる。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>面会時には職員から声をかけ、日々の様子や健康状態を伝えている。また、毎月写真を多く用いたホーム便りで入居者の表情を伝えるほか、管理者が一人ひとりについて手紙を書き、体調の報告や往診の医師からの伝言、行事のお知らせなどしている。こづかい帳は面会時に確認してもらっている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>年に1度ホーム独自の満足度アンケート調査をして意見要望を聞いている。運営推進会議では毎回家族の参加を呼びかけており、いくつかの意見要望が出ている。誕生会やクリスマス会などの行事への参加を呼びかけ、その際に話を聞いている。家族からの意見で面会時に記入する名簿を個別にした。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>法人内での異動は避けられないが必要最低限のものとし、運営推進会議や便りで報告し理解を求めている。入居者へは聞かれた場合にはきちんと説明している。新しい職員には研修という形で1カ月間ベテラン職員がについて細かい情報を伝えて、今までと変わらない対応ができるよう努めている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | 法人内の研修会が月に1度あり、参加した職員は申し送りの際に口頭で報告したり報告書を読んでもらって、他の職員に内容を伝えている。また、法人のグループホーム部会が独自に、現状に即した具体的な内容の研修会を開いている。希望があれば外部の研修にも参加できる。研修は業務扱いでパート職員を含め全員が交代で参加できるようにしている。 | | |
| 11 | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | 全国グループホーム協議会に加入している。また、県の協議会の研修会に参加し情報を得ている。同じ法人の6つのグループホームで合同の研修会や交流会を行うほか、交換研修をして他のホームの意見や経験をケアに活かしている。 | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | 入居前にできる限り本人にも家族と共に来てもらい、他の入居者と一緒に過ごしてもらっている。職員が家庭を訪問し様子を見ることもある。他のサービスを利用している人が多いのでそこからの情報も活用し、今までのペースで生活しながら馴染んでいけるようにしている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしなが喜び哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | 入居者を介護されるだけの立場に置かず、調理や掃除などできることを一緒に行っている。不安や寂しさが見える時は1対1で話を聞いたり、一緒に外出したりして気持ちに寄り添うようにしている。職員が食べ物や諺、季節の行事のことなど入居者から教えてもらうことも多い。入居者からの優しい言葉や労わりの言葉に職員が励まされることもある。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>日々の会話の中でちょっとした言葉から一人ひとりの思いや希望を汲み取り「つぶやき」としてまとめている。あまり話されない場合は、1対1で過ごす時間をつくり、ゆっくり話を聞いたり、行動や表情から汲み取っている。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>入居時に個人のケース記録、本人、家族の意見を交えて生活プラン的暫定介護計画を作成し、数カ月様子を見る。居室担当のアセスメントチェック表、職員の意見を取り入れ、計画作成担当者は問題点の解決だけでなく、楽しみややりたいことを盛り込み精神面への支えとなるよう個別具体的に、暮らしを反映した計画を作成している。介護計画は家族へは面会時に説明し、職員は回覧後ケース記録のファイルに入れいつでも確認できるようにしている。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>短期目標は内容により1週間から1カ月、3カ月、長期目標は6カ月としている。現状に即して見直しを行ない、何か変化が生じた場合は、臨機応変に関係者と話し合っ随時見直しを行なっている。新たな要望や変化が見られない場合は、より細かく1日の流れが記載されているデイリープランに組み入れて6カ月毎に見直している。過去に得意だったことを伸ばして自信や励みに繋げたり、外出など一層楽しみごとを増やすなどの工夫をしている。</p> | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>昨年11月に医療連携体制加算をとり、看護師による日常的な健康管理（バイタルチェック、体重管理、経過観察）を行ない、特変時の早期発見や医療サポートの充実に努めている。夜間など併設施設の待機看護師と連絡、指示を得ることもできる。入院時には見舞いに出かけ、迅速な情報提供や関係機関との連携を図り早期退院へ向け支援している。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>毎月、地元の内科医と精神科医の往診があり、眼科、皮膚科などは家族の協力のもと今までのかかりつけ医を受診している。また、歯科医との協力体制もある。家族による受診の際には情報を文書で渡し、結果などの報告を受けている。春日井市の健康診断や血液検査で日常的に健康状態を把握、重度化予防に努めている。</p> | | |
| 19 | 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>入居時に終末期に向け同法人の施設との連携体制を説明し、同法人の介護老人福祉施設への申し込みをお願いしている。「重度化した場合における対応に係わる指針」を作成し、運営推進会議や面会時に家族に話している。状況変化に応じてこまめに関係者で話し合い、方針を統一し職員間で情報を共有している。本人、家族の要望にはできる限り添えるよう努め、緊急時の対応が行なえるよう整備している。</p> | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>居室への入室時はドアを閉め、トイレ誘導の際には言葉かけに十分注意を払い自尊心を傷つけないようさりげなく対応している。記録類は使用時以外は鍵のかかる机、棚で保管、事務所のホワイトボードへの病院受診の記入はインシヤルを使用するなど個人情報の取り扱いには細心の注意をはらっている。</p> | | |
| 21 | 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>1日の目安となるスケジュールはあるが、一人ひとりのペースで過ごしている。レクリエーションへの参加、身だしなみなど自己決定していただけるよう支援している。夜遅くまで起きている方には夜勤者が1対1で過ごす時間をつくり話しをしたり、体調不良の時は居室でゆっくり休んでもらっている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | キッチンその他、共用空間にも流し付き調理台があり一人ひとりの力量に合わせて食事の準備、片付けを職員と一緒にこなしている。献立は入居者の希望を入居時の嗜好調査、買い物時や日常会話より把握して取り入れている。誕生日にはその方の希望するものを、また、季節の行事食を作ったりして日々職員とともに食事を楽しんでいる。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は、毎日14:00～18:00の時間帯に行なっている。階段付きの湯船は深浅2部あって広く、時には2人で楽しむこともできる。入浴を拒まれる方には声かけや時間帯を変えるなどの工夫をしたり、足浴へ変更することもある。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 本人の希望や能力を活かして張り合いや喜びのある生活ができるよう介護計画に反映させ支援している。ボランティアの協力のもと入居者は絵手紙、紙芝居、音楽療法、書道、プリザーブドフラワーなど好きなことを楽しみ、針仕事やプランターの世話をすることも。併設施設内の慰問行事、支援ハウスでのカラオケ大会などに参加、交流している。朝のテレビ体操やベランダ散歩で体力の維持にも努めている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 食材購入に出かける際に声かけし、天候が許せば公園など戸外へ散歩に出かけるようにしている。市内大型商店は食料品、衣料品など品揃えが豊富なので重宝している。昭和村へ遠出したり、年1回家族と共に併設施設の1泊旅行に参加している。本人の希望を取り入れて個別外出をさらに進めたいと考えている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 職員は鍵をかけることの弊害を充分理解し、入り口の施錠はせず自由に出入りできるようにしている。日常は職員が入居者の様子やサインの把握、見守りで所在確認のもと離設事故防止に努めている。また、センサーでも人の出入りが確認できる。併設施設の1階には入居者の顔写真を備え、連絡してもらえる関係を築いている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回施設全体で消防署の協力のもと、地域の方々にも呼びかけ実践的な避難訓練を行なっている。その他に毎月入居者も参加して避難方法や消火器の使い方を身につけ落ち着いて対応できるように努めている。設備点検も月1回行い、非常用飲料、備品を併設施設内に備蓄している。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立は定期的に栄養士のチェックを受けている。食事や水分摂取量は個々に記録し、毎月の体重測定で食事量の目安にしている。水分はカウンターにポットを置いたりしてこまめな摂取に心がけ、食事の工夫、運動で自然排便に努めている。薄味に努め栄養面を考え、牛乳や乳製品はデザートやシチューなど形をかえ摂取できるようにしている。糖尿病の方には主治医と相談して主食の量で対応している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホームは法人併設施設建物の2階にある。入り口には灯籠があり、「ようこそ」と手書きで書かれてある。のれんをくぐると廊下の壁にはホーム便り、手作り作品、犬や猫の写真が貼ってあり心を和ませてくれる。諺や日本地図、声に出して読むための小説の一説、また、現在の居場所を知るためにホーム名と住所が書いてある。居間には一人用、多人用ソファや畳が敷かれ、思い思いに過ごせるようになっている。広いベランダへは自由に出入りでき、散歩、プランター、布団や洗濯物干しに利用し、庭園近くのベンチでは日光浴もできる。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には馴染みの家具、家族などの写真、手作り作品、仏壇などが持ち込まれ落ち着いて過ごせる場所になっている。洗面台もあり、うがい、手洗い、歯磨きなどもできる。起床時、清掃時、不在時に換気の声かけ、支援を行っている。上置き収納があり、季節毎の入れ替えに便利である。 | | |

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。